

第 57 回全日本社会人卓球選手権大会 実施要項

(※状況により大会要項が変更される場合がございますのでご承知おきください)

- (1) 名 称 第 57 回全日本社会人卓球選手権大会
- (2) 期 日 2023 年 10 月 27 日(金)～29 日(日)
- (3) 会 場 新青森県総合運動公園 (マエダアリーナ)
青森駅からバス (青森市営バス「新総合運動公園前」行) で「新総合運動公園」下車
〒039-3505 青森県青森市宮田宇高瀬 22-2 TEL: 017-737-0601
- (4) 主 催 公益財団法人日本卓球協会
- (5) 主 管 青森県卓球連盟、青森市卓球協会
- (6) 後 援 青森県、青森県教育委員会、(公財)青森県スポーツ協会、青森市、青森市教育委員会、
(一財)青森市スポーツ協会、東奥日報社
- (7) 競技種目 ①男子シングルス ②女子シングルス
③男子ダブルス ④女子ダブルス
- (8) 試合方法 ①各種目ともトーナメント方式による。
②男女シングルスのみ推薦選手のうち 16 人はベスト 32 決定戦よりスーパーシードとして出場する。
(ダブルスのスーパーシードは設けない)
③男女シングルスは準々決勝より 7 ゲームマッチ、他は全て 5 ゲームマッチとする。
- (9) 競技日程
- | | | |
|--------------|--------|--------------------------------------|
| 10 月 27 日(金) | 9:00～ | 開会式 |
| | 9:30～ | 男女ダブルス (1～5 回戦)
男女シングルス (1 回戦の一部) |
| 28 日(土) | 9:00～ | 男女シングルス (1～5 回戦)
男女ダブルス (準決勝・決勝) |
| 29 日(日) | 9:00～ | 男女シングルス (6 回戦～決勝) |
| | 15:00～ | 閉会式 |
- (10) 競技ルール ①現行の日本卓球ルールによる。
②卓球台はグリーンまたはブルーを使用する。
③使用球は、JTTA 公認プラスチック球; 40 mmホワイトのみとする。
④競技用ユニフォームは (公財) 日本卓球協会の公認マークが付いたものとし、競技用シャツは明らかに異なった色のものを 2 着以上持参すること。
⑤ゼッケンは 2023 年度 (公財) 日本卓球協会指定のものを使用すること。
⑥ラバーをラケット本体に貼る場合、揮発性有機溶剤を含んでいないものとして JTTA が公認した接着剤のみを使用すること。
- (11) 参加資格 ①参加者は、当該都道府県に居住または勤務している者で 2023 年度 (公財) 日本卓球協会選手登録者でかつ、段級制規程 (注 1 参照) に定められた有段者であること。
②日本学生卓球連盟及び全国高等学校体育連盟に登録している者は出場できない。
③学校教育法第 1 条に規定する学校 (この法律で、学校とは、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学及び高等専門学校とする。) 及び専修各種学校に在籍する学生及び生徒 (大学院生は除く) は参加できない。
④ただし、勤労を生活の主としている者で、大学、短期大学、専修各種学校において夜間授業を行う学部、通信による教育を行う学部に在籍、及び、高等学校において定時制・通信制の課程を履修しているものは参加できる。
⑤本年度の全日本卓球選手権大会 (マスターズの部) への重複出場は禁止する。ただし、マスターズの部に参加した者でも、この大会の男女ダブルスには出場することが出来る。
⑥各都道府県代表は、各都道府県卓球協会 (連盟) 主催の予選会もしくはその他適当な方法により選出されたものであること。
⑦外国籍選手は出場できない。但し、次の場合はこの限りではない。日本で出生した者は、大会申し込み時点まで 3 年以上継続して在住していること。また、外国で出生した者は、大会申し込み時点まで 10 年以上継続して在住していること。ダブルス種目について出場資格制限はない。

⑧無条件参加選手（別表1参照）

◎シングルの部

- (イ) 第56回全日本社会人卓球選手権大会
男・女シングルスベスト16の者
- (ロ) 2023年全日本卓球選手権大会（一般の部）
男・女シングルスベスト16の者
- (ハ) 全国教職員連盟からの推薦者男・女各1名
2023年度全国教職員大会終了後に決定する。

◎ダブルスの部

- (イ) 第56回全日本社会人卓球選手権大会
男・女ダブルスベスト8の組
- (ロ) 2023年全日本卓球選手権大会
男・女ダブルスベスト8の組
- (ハ) 全国教職員連盟からの推薦者男・女各1組
2023年度全国教職員大会終了後に決定する。

*クラブ選手権大会からの推薦はありません。（シングルス、ダブルスともに）

(12) 参加人員 表1

区分	都道府県名	種目	男子	女子	男子	女子
			シングルス	シングルス	ダブルス	ダブルス
1	青森(開催地)、北海道、東京、愛知、福岡		10	10	5	5
2	埼玉、神奈川、静岡、大阪		8	8	4	4
3	京都、兵庫、岡山、長崎		6	6	3	3
4	岩手、秋田、山形、福島、茨城、栃木、群馬、千葉、山梨、新潟、長野、富山、石川、福井、三重、岐阜、滋賀、奈良、島根、広島、山口、香川、徳島、愛媛、高知、佐賀、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄		4	4	2	2
5	宮城、和歌山、鳥取		2	2	1	1

区分1：開催県及び2022年度日卓協一般男女選手登録人員上位4加盟団体

区分2：2022年度日卓協一般男女選手登録人員5～8位加盟団体

区分3：2022年度日卓協一般男女選手登録人員9～12位加盟団体

区分4：区分1・2・3・5に該当しない加盟団体

区分5：2022年度日卓協一般男女選手登録人員が1位加盟団体の1割に満たない加盟団体

※一般男女登録人員は教職員、日本リーグの登録人員を含む

- (13) 参加料
 シングルス 1名 3,000円
 ダブルス 1組 4,000円

- (14) 申込方法
 大会申込システムを使用して申し込むこと。なお、主管地へはデータをメールで送付する。
 なお、主管地へはデータを本会より締切日翌日を目安にメールで送付する。
 参加料は加盟団体より①現金書留又は②振込にて、（公財）日本卓球協会宛送金のこと。

① 〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4-2 Japan Sport Olympic Square
 （公財）日本卓球協会 宛

TEL：03-6721-0921 FAX：03-6721-0931

② 振込先：みずほ銀行 渋谷支店 当座 No.5337 公益財団法人日本卓球協会

- (15) 申込締切 ご自身が登録されている都道府県卓球協会・連盟にお問い合わせください。

- (16) 宿泊 後日、旅行代理店より各都道府県の加盟団体へ連絡する。

- (17) その他
 ①一旦申し込まれた選手の締切期日後の変更認めない。
 ②やむを得ない事情で本大会を棄権する場合は、必ず各都道府県の加盟団体より主管地及び本会宛へ指定用紙にて連絡すること。
 ③開会式には原則として全員参加すること。

- ④ 病気、事故に備えて、各自健康保険証を持参して下さい。けが等の場合には、可能な応急処置はしますが、各自の責任に帰することとします。
- ⑤ 大会参加中、万一事故のあった場合は、本会の「会員お見舞い制度」の範囲内で対応いたします。
- ⑥ 個人情報の取り扱いに関して
大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、それ以外の目的に利用することはありません。詳細につきましては本会ホームページにてご確認下さい。
- ⑦ 本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程が適用されます。

別表1

(2022年度)第56回全日本社会人卓球選手権大会による推薦者

男子シングルス				女子シングルス			
1	大島 祐哉	(東京)	木下グループ	1	井 絢乃	(広島)	中国電力
2	上田 仁	(埼玉)	T.T.彩たま	2	成木 綾海	(広島)	中国電力
3	吉田 雅己	(栃木)	木下グループ	3	野村 萌	(静岡)	デンソー
4	村松 雄斗	(千葉)	La. VIES	4	玉石 幸穂	(奈良)	エクセディ
5	有延 大夢	(佐賀)	琉球アスティータ	5	出雲 美空	(東京)	サンリツ
6	渡辺 裕介	(東京)	協和キリン	6	三村 優果	(東京)	サンリツ
7	笠原 弘光	(埼玉)	ハンディ	7	田口瑛美子	(茨城)	昭和電工マテリアルズ
8	田添 響	(佐賀)	岡山リベッツ	8	森田 彩音	(静岡)	デンソー
	酒井明日翔	(東京)	シチズン時計		松岡 優香	(愛媛)	愛媛銀行
	徳永 大輝	(鹿児島)	鹿児島相互信用金庫		中畑 夏海	(静岡)	デンソー
ハ	松山 祐季	(東京)	協和キリン	ハ	笹尾明日香	(大阪)	日本生命
ス	英田 理志	(愛媛)	愛媛県対	ス	瀬山 咲希	(東京)	トプコン
ト	坂根 翔大	(大阪)	関西卓球アカデミー	ト	中森 帆南	(広島)	中国電力
16	上村 慶哉	(東京)	シチズン時計	16	松澤帆乃果	(香川)	百十四銀行
	皆川 朝	(東京)	日野キングフィッシャーズ		菅澤柚花里	(静岡)	デンソー
	松下 大星	(大阪)	クローバー歯科カスピッツ		木村 光歩	(広島)	中国電力
男子ダブルス				女子ダブルス			
1	{ 渡辺 裕介	(東京)	協和キリン	1	{ 成木 綾海	(広島)	中国電力
	{ 松山 祐季	(東京)	協和キリン		{ 井 絢乃	(広島)	中国電力
2	{ 高見 真己	(和歌山)	日鉄物流ブレイザーズ	2	{ 野村 萌	(静岡)	デンソー
	{ 定松 祐輔	(和歌山)	日鉄物流ブレイザーズ		{ 森田 彩音	(静岡)	デンソー
3	{ 大島 祐哉	(神奈川)	木下グループ	3	{ 中畑 夏海	(静岡)	デンソー
	{ 田添 健汰	(東京)	木下グループ		{ 安部 愛莉	(静岡)	デンソー
4	{ 松下 大星	(大阪)	クローバー歯科カスピッツ	4	{ 小畑 美月	(静岡)	デンソー
	{ 宮本 春樹	(大阪)	クローバー歯科カスピッツ		{ 菅澤柚花里	(静岡)	デンソー
5	{ 松平 賢二	(東京)	協和キリン	5	{ 平 真由香	(茨城)	昭和電工マテリアルズ
	{ 碓塚 将人	(東京)	協和キリン		{ 田口瑛美子	(茨城)	昭和電工マテリアルズ
6	{ 上村 慶哉	(東京)	シチズン時計	6	{ 加藤 亜実	(岐阜)	十六銀行
	{ 酒井明日翔	(東京)	シチズン時計		{ 小島 叶愛	(岐阜)	十六銀行
7	{ 松下 海輝	(和歌山)	日鉄物流ブレイザーズ	7	{ 田中 千秋	(愛知)	豊田自動織機
	{ 藤村 友也	(和歌山)	日鉄物流ブレイザーズ		{ 上田 真実	(愛知)	豊田自動織機
8	{ 皆川 朝	(東京)	日野キングフィッシャーズ	8	{ 伊藤佑里子	(千葉)	松戸市役所
	{ 平野 晃生	(東京)	日野キングフィッシャーズ		{ 金子 碧衣	(千葉)	松戸市役所

2023年(2022年度)全日本卓球選手権大会ランキングによる推薦者

男子シングルス				女子シングルス			
1	戸上 隼輔	(東京)	明治大	1	早田 ひな	(福岡)	日本生命
2	張本 智和	(宮城)	IMG	2	木原 美悠	(東京)	JOCエリートアカデミー/星槎
3	篠塚 大登	(愛知)	愛知工業大	3	横井 咲桜	(大阪)	四天王寺高
4	曾根 翔	(埼玉)	T. T彩たま	4	石川 佳純	(山口)	全農
5	及川 瑞基	(神奈川)	木下グループ	5	出雲 美空	(東京)	サンリツ
6	吉山 僚一	(愛知)	愛工大名電高	6	佐藤 瞳	(大阪)	ミキハウス
7	田中 佑汰	(愛知)	愛知工業大	7	鈴木 李茄	(栃木)	トップおとめビッポンズ名古屋
8	宇田 幸矢	(東京)	明治大	8	平野 美宇	(東京)	木下グループ
9	加山 裕	(東京)	日本大	9	長崎 美柚	(神奈川)	木下グループ
10	吉村 真晴	(茨城)	TEAM MAHARU	10	加藤 美優	(鹿児島)	吉祥寺卓球倶楽部
11	上村 慶哉	(東京)	シチズン時計	11	大藤 沙月	(大阪)	四天王寺高
12	濱田 一輝	(東京)	早稲田大	12	張本 美和	(神奈川)	木下アカデミー
13	松下 大星	(大阪)	クローバー歯科カスビッス	13	伊藤 美誠	(大阪)	スターツ
14	吉田 雅己	(神奈川)	木下グループ	14	皆川 優香	(大阪)	大阪成蹊大
15	横谷 晟	(愛知)	愛知工業大	15	橋本帆乃香	(大阪)	ミキハウス
16	坂根 翔大	(大阪)	関西卓球アカデミー	16	安藤みなみ	(栃木)	トップおとめビッポンズ名古屋
男子ダブルス				女子ダブルス			
1	{ 張本 智和 (宮城) IMG 森菌 政崇 (鹿児島) BOBSON			1	{ 伊藤 美誠 (大阪) スターツ 早田 ひな (福岡) 日本生命		
2	{ 及川 瑞基 (神奈川) 木下グループ 松島 輝空 (神奈川) 木下アカデミー			2	{ 成本 綾海 (広島) 中国電力 井 絢乃 (広島) 中国電力		
3	{ 大島 祐哉 (東京) 木下グループ 田添 健汰 (神奈川) 木下グループ			3	{ 芝田 沙季 (大阪) ミキハウス 大藤 沙月 (大阪) 四天王寺高		
4	{ 三部 航平 (東京) シチズン時計 龍崎 東寅 (東京) 三井住友海上			4	{ 佐藤 瞳 (大阪) ミキハウス 橋本帆乃香 (大阪) ミキハウス		
5	{ 松平 健太 (千葉) ファースト 神 巧也 (千葉) ファースト			5	{ 長崎 美柚 (神奈川) 木下グループ 木原 美悠 (東京) JOCエリートアカデミー/星槎		
6	{ 小林 広夢 (東京) 日本大 伊藤 礼博 (東京) 日本大			6	{ 森田 彩音 (静岡) デンソー 野村 萌 (静岡) デンソー		
7	{ 横谷 晟 (愛知) 愛知工業大 谷垣 佑真 (愛知) 愛知工業大			7	{ 田中 千秋 (愛知) 豊田自動織機 上田 真実 (愛知) 豊田自動織機		
8	{ 宮川 昌大 (東京) 明治大 山本 歩 (東京) 明治大			8	{ 小畑 美月 (静岡) デンソー 菅澤 柚花里 (静岡) デンソー		

※クラブ委員会からの推薦はありません

男子シングルス	女子シングルス
1 — — (—) ——	1 — — (—) ——
2 — — (—) ——	2 — — (—) ——

※全国教職員連盟推薦

男子シングルス	女子シングルス
1 坂井 瑞輝 (神奈川) Infinity	1 秋山 有紀 (香川) 四学香川西クラブ
男子ダブルス	女子ダブルス
1 福井 快智 (岡山) Y. Y LINK 萩原 卓樹 (岡山) Y. Y LINK	1 塚本 佳苗 (青森) 多賀台クラブ 佐藤 芽里 (青森) 東奥学園高等学校

注1) 段級制規程要約(出場回数)

段位取得について(2023年3月の理事会で承認された段級制規程改定に基づく)

- ①全日本社会人選手権大会 ②全日本選手権大会(マスターズの部) ③全日本選手権大会(一般・ジュニア)
- ④全日本選手権大会(団体の部) ⑤全日本実業団選手権大会

上記5大会に出場する者は、2024年度以降の大会出場は有段者であることを条件として、その段位を問わないものとする。2023年度は移行期間とし、有段者であれば必ずしも下記の段位取得を問わないものとする。

段位取得規程要約(平成元年以降)
(ア) 初出場者 初段
(イ) 同一大会3回目出場者 2段
(ウ) 同一大会5回目出場者 3段
(エ) 上記①及び③大会(一般)単または複ベスト16入り経験者 . . . 4段
(オ) 上記①及び③大会(一般)単または複ベスト4入賞経験者 . . . 5段
(カ) 上記①及び③大会(一般)単または複の優勝者 6段